

# 質問代表



東海林 剛  
(民主クラブ)

行財政改革は

問 財政健全化計画も人件費の削減効果額が50%をこえている。将来のまちづくりを推進する行政体制を見据える事が必要、職員適正定数の目標と退職職員の不補充の影響についての見解は。

答 職員定数は平成26年度267名体制に向け、5人退職に対し1人の採用を基本としている。事務職は3年間凍結しているが、執行体制の見直しなどと合わせて目標に向けた人材の確保に努めて行きたい。

答 農業と観光の連携は農業の生産活動と豊かな農村景観の維持、観光ではやさしい誘客や受け入れに努力することが基本で、この二つが融合する事により新たな成長が期待できる。

移住、定住対策は(仮称)移住促進協議会を設立し官民協働「オールふらの」によるPR活動や、首都圏、関西圏へのプロモーション活動を行う。

## 農業行政は

問 「農業及び農村基本計画」の実施にあたり市長は現在の富良野農業の優先課題をどのように整備されているのか、3点に絞って伺いたい。また、それに対する取り組みについて見解を伺う。

答 「既存施策による対応が可能か」「拡充が必要か」「新規施策が必要か」という3つの視点で整理を行い、「担い手の育成確保」「農地の有効活用」「農村の維持及び振興」の3点を重要課題とし、体系的な担い手の能力向上、農地流动手法の見直し、農村実態調査の実施及びこれに基づく対策が必要と考える。



横山 久仁雄  
(市民連合)

財政運営は

問 本市の厳しい財政は理解するが、必要以上に市民生活や経済活動を萎縮させではなくない。「身の丈に合った財政運営の推進」の、「身の丈」の基準は何か。

答 基金に依存しない歳入に見合った歳出予算の確立が重要であり、「身の丈」の基準である。

## 人事評価制度の導入は

問 誰もが納得できる「評価基準と合意」が無ければ職員相互の信頼関係やチームワークを損ねたり、減点評価を恐れる「指示待ち職員」を作るおそれがある。評価の公平性はどう担保されるのか。

答 ホームページの活用による定住者増、新規就農が図られている。

問 農村観光都市形成の構想には、オーガニックアカデミーは重要なファクターと思うが今後の見通しは。

答

農業法人の設立基準が進められており、長い目で見守りたい。

## 雇用対策は

問 経済不況の中で失業者が増加している。雇用対策は産業の創出が重要と思うが。

答 農村観光都市は産業の創出につながる。

問 農業と観光を中心とした産業クラスターを目指すと理解してよいか。

答 農村景観を舞台に、農業と観光が商工業や教育、福祉など様々な分野と有機的に連携することによって「魅力と活力あるまちづくり」を目指すものである。

問 これまでに、何が具体化されてきたのか。

問 農村観光都市形成における農業と観光との連携についての見解を伺う。また、都市と農村との交流から移住、定住に至るには、医療・教育・雇用・情報インフラ・住宅など総合力が試されるが、具体的なプログラム

答 行政内部の行政推進委員会や専門部会の検討、併せて行政委員会の意見を聞き検討する。

答 農村観光都市は産業の創出につながる。